

湯郷渡・下母畑・上母畑の3サロン 講師全員が健康リーダー！！

8月6日（火）湯郷渡サロン 16名 参加 講師 廣田 智（理学療法士）、6日（火）下母畑サロン 11名 参加 講師 添田 美恵子、添田 京子（健康リーダー）、9日（金）上母畑サロン 10名 参加 講師 鈴木 京子、二瓶 順子の3サロン全て脳トレ、健康体操と健康寿命を延ばす為に指導して頂きました。



湯郷渡サロン



下母畑サロン



上母畑サロン

母衣旗盆踊り大会を前座で盛り上げて頂きました！！



佐藤みわこさん



小林典夫さん



地元の増子幸一さん

お知らせ

母畑地区総合健診 10月10日（木）
母畑自治センターで行ないます。
忘れずに受診しましょう！！

9月の行事

3日（火） 9:30 湯郷渡サロン 講師：添田 美恵子、鈴木 京子（健康リーダー）	14日（土） 10:00 母畑子ども神輿
6日（金） 13:30 自治協議会福祉部会	16日（月） 10:00 第68回母畑地区敬老会
6日（金） 19:00 敬老会第2回実行委員会	17日（火） 13:30 きたす会
7日（土） 13:30 書道教室	20日（金） 19:00 自治協議会理事会
7日（土） 18:30 母衣旗盆踊り反省会	21日（土） 8:00 そば打ち教室移動研修
10日（火） 13:30 下母畑サロン 講師：井上 真由美（リードシステム）	21日（土） 13:30 書道教室
11日（水） 13:30 白菊学級	22日（日） 8:00 北山区スポーツ大会
11日（水） 19:00 民謡教室	24日（火） 13:30 きたす会
12日（木） 9:30 長寿会奉仕作業	25日（水） 19:00 民謡教室
12日（木） 13:30 ハーモニカ教室	26日（木） 13:30 ハーモニカ教室
12日（木） 18:30 集落座談会	28日（土） 10:00 交通安全テント村
13日（金） 9:30 上母畑サロン 講師：廣田 智（理学療法士）	28日（土） 13:30 書道教室
	29日（日） 6:00 北須川溪谷草刈り

編集後記 梅雨が明けたと思ったら、毎日毎日猛暑日が続く熱中症になってしまうのではと、心配してしまいます。お盆を過ぎたら急に涼しくなり、季節は駆け足で秋に向かっていきます。季節の変化に対応できるように規則正しい生活をしましょう。

母畑自治センターだより

母衣旗

今月の題字（271）小6 関根 あんり さん

教育目標

「輝け！

母衣旗」

令和1年 9 月

第554号

発行日

令和1年9月1日

発行所

母畑自治センター

責任者

センター長 瀬谷 長一

第6回母衣旗盆踊り大会大盛況！！

8月15日（木）午後5時から盆踊り大会前座に“佐藤みわこ歌謡ショー” & “ムーディ小林の夜空のトランペット演奏” & “増子幸一ギター弾き語り”を行なった。その後のオープニングセレモニーでは、主催者挨拶を藤島力保存会長、来賓者挨拶を塩田金次郎町長、円谷健市県議、下山田和雄議長そして地元永沼一夫町議に頂きました。7時から本番の第6回母衣旗盆踊り大会に入りました。盆踊りに来た人達は、笛・太鼓に合わせて一年ぶり踊れる楽しみにしたり、模擬店で買い物したりとお盆の一夜を満喫していました。母衣旗盆踊り大会の懸賞踊りは、役員による踊った子ども達全員に花火セット、そして踊った人達を対象に審査し、それぞれの賞を決めて賞品を手渡した。最後には、八幡屋さんによる花火が打ち上げられ、第6回母衣旗盆踊り大会が終了致しました。



今月の仲間・人（二四五）

区長に就任して

母畑地区区長会（上母畑区長）

会計 関根道夫



区長に就任して早くも5ヶ月の月日が流れ、天皇陛下の生前退位と共に時代は平成から令和に移行し、来年には二度目の東京オリンピック、さらに二度目の大阪万国博覧会開催へと続いていきます。

就任当時路頭に迷う日々を諸先輩の意見を参考に恒例行事、一回目の選挙（参議院）を地区の皆さんのご協力ながら過して参りました。

今後は、二つの選挙（町会議員、県議会議員）、母衣旗盆踊り、文化祭・カカシまつりと行事が予定されており、自治センター長始め諸先輩の方々との地区の区長、地域の皆様方のご協力を頂きながら、令和元年の記念すべき年の区長として骨身惜しまず、大過なく過し有終の美を飾れたらと思いますので皆様のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い致します。

最後に母畑自治センターを始め、母畑地区のご発展と皆様の健康を祈りつつ筆を置きます。



第6回母衣旗盆踊り大会を写真で紹介します！！



母畑村讀本

中巻 第二課 雲水峰古城

東北本線の列車が須賀川駅に入る時、車の窓から東をながめると山頂が宝珠の形をして、裾を左右に引いた山がうす紫色にそまつて見える。これが名高い宇津峯である。

宇津峯は昔は埋峯とかき、今では雲水峰とかいっている。須賀川から東に向い約三軒程行くと、阿武隈川が流れている。川の東は石川郡になつてゐる。そこから小塩江村大字塩田を通つて宇津峯山頂までおよそ八軒ばかりもあるだろう。その途中数箇の館跡が目につくが、これは皆昔の宇津峯城のとりでのあとであつて、中には堀の形がそのまま残つてゐるものもある。

宇津峯は高さ千八百五十尺山頂は甚だ狭く二十間四方ぐらい南西、北は絶壁である。中央には、東西十五間南北十間ばかりの廣さの周囲に、高さ一間程の土手がめぐらしてあつて、中には石の小さなほこらが三つある。これが宇津峯神社で、こゝを千人だまりとゆう。

頂上にのぼれば南西北は一面にひらけて、目をさえぎるものはない、須賀川、郡山、二本松、白河までも、遠く指さしながめることが出来る。ゆる阿武隈平野は目の下にひろげられ、那須の煙の立のぼるのも見える。今は大部分石川郡のうちにあるが、南北朝時代には田村荘司の領地であつて後には岩瀬郡川東郷とよばれてゐたが明治八年から石川郡になつた。頂上から東の方に足を運ぶと自然石に大きく「南朝忠臣之遺跡」とほりつけてある。のが、目につく。宇津峯は南朝の興國正平年間、北畠顯信卿が宇津峯宮守永親王を奉じて十數年間こもられた地である。

顯信卿は北畠親房の次子、顯家卿の弟であつて、忠勇父にも兄にもおとらない方であつた。兄顯家卿が和泉の國の石津に賊と戦つて討死された後顯信卿は、陸奥介鎮守大將軍に任ぜられ、興國元年奥州に下り宇津峯城にお出でになつた。宮城縣多賀城にお入りになるはずであつたが、當時は賊軍の勢力が強かつたため、入る事が出来ず、その時に田村荘司が無二の勤王の人であつたので、宇津峯城にお出でになつて止つていられたとの事である。

その後、興國四年父親房卿のお守りになつていた常陸の関城が賊のたがれて攻めおとされたので城にお出でになられた守永親王は、奥州にのここの間田村、伊達、葛西、南部などの忠義な人だちと賊の間にあらちちらではげしい戦があつたが、正平二年白河にいた賊將結城顯朝に攻められて、はげしい戦の後、宇津峯城は落城の悲運におちいり、顯信卿は宇津峯宮を奉じて、はるばる出羽の國にのがれて行かれたのである。

その後顯信卿は、諸所に賊と、戦われたが、正平七年には再び宇津峯に入城された。この時には顯信卿の子、守親卿も陸奥國司となつて奥州に下り、父と共に宇津峯城に入城されて守永親王をおまもりになつた。

翌正平八年には、吉良、結城、相馬、石川などの賊軍勢はげしく攻めたので、宇津峯城はまた落ち、宇津峯宮、顯信父子は再び出羽の國にのがれて行かれたのである。この間實に十四年間

阿武隈の平野を見下す宇津峯の地にあつて、世にかくれもない忠臣父子が、陸奥の官軍に十四年間も號令を下し、皇室のためにつくされた事を思えばこの同じ地に生活してゐる我等は、まことに感激にたえない。

宇津峯は前に福島縣の十景の一にえらばれ、昭和六年七月には、文部省から史蹟名勝天然記念物に指定された。秋の一日をさいて登山すれば、全山紅葉にかざられて、もえるように美しく、中に松は点々緑をそえて、たとえようもない趣をみせてゐる。目の下を阿武隈川が帯のように流れ、東北本線の列車が煙をはきながら、みづのようにはつてゐるのも一望の中におさまる。美しい天地にあそび、その上に南朝忠臣の心のあとを思ふのも意味の深い事ではないか近頃登山する人が多くなつたのもわけのないことではない。

第三課 乙字ヶ瀧

その形がナイガラの瀧に似てゐると言われている乙字ヶ瀧は、石川町から須賀川町に行く途中阿武隈川にありませう。あの大きな阿武隈の流れが、高さ六米もある絶壁をみなぎり落ちるので、その壯觀は筆や口にはつくされませぬ。岩瀬郡の方は、びようぶのように岩が高い絶壁をなして、その上は一面に生えてゐる青々とした松、中に藤やつゞじの花が、点々として咲き乱れてゐるのが水面にかけをうつし、秋は萬山の紅葉錦をかざり、冬は眞白な水の玉の乱れとぶ景色、いづれおとらぬよい景色です。石川郡の方は、少し平なところがあつて松林になつてゐます。一段下つたところに瀧見不動堂があります。これは弘法大師が開いたといわれています。焼けつく様な夏のあつた日もの松林の中で、一休みして自然のがめにうつとりとした時は、いつか暑さも忘れて、さわやかな氣持になります。すぐ道すじなので須賀川の牡丹の頃は、この瀧を見に来る人が大變多いです。近頃名物瀧見だんごなど賣る店も出来、夏の日盛りには、氷屋もできませう。

次号は『第四課 発電所見学』を掲載します。